



三珠中学校校長室だより
令和7年7月16日発行
No.15
文責 校長 渡邊 康裕

三珠中HPIはこちら！



6年ぶりのナーシングプラザ三珠訪問

7月9日(水)、1年生が6年ぶりとなるナーシングプラザ三珠を訪問しました。▼コロナ禍前は三珠中の恒例行事だったナーシングプラザ三珠訪問でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、しばらくの間、交流は中止になっていました。コロナ禍が明け、一昨年度、現3年生は屋外で短時間ではありましたが交流を復活することができました。昨年度、現2年生はこれまで通りの交流を行う予定でしたが、感染症の流行で中止になってしまいました。そして今年度、久しぶりに施設を訪問しての交流を復活することができました。▼普段から元気な1年生ですが、この日はその元気に加えて、お年寄りに対する優しさが随所に感じられました。この日のために、『認知症について』や『お年寄り体験』、



『お年寄りへの話しかけ方』などの学習や体験を積んできました。また、レクレーション(なぞなぞ・ジャンケン大会)の準備やお年寄りと一緒に歌を歌う準備なども頑張ってきました。当日は、そんな1年生の努力が報われる体験となりました。1年生がお年寄りに話しかけると自分の孫のことを思い出し、嬉しくなって涙する方も見られ、それほど喜んでくれたことに心を打たれた1年生もいました。「人のため」になることをすることが自分の心も豊かにしてくれるということを知る、貴重な体験となりました。▼まとめの会で印象的だったのは「自分の親は介護の仕事で、いつも大変で『かわいそうだな』と思っていたけれど、今日、訪問して『かっこいい仕事』だと感じました。」という感想でした。今回の訪問を一生懸命頑張ったからこそ、そう感じることができたのだと思いました。1年生15人が本当によく頑張ったナーシング訪問、この日のお年寄りに向けた気持ちであらゆる人に接することができれば、きっとこれからの自分自身の豊かな人生につながることでしょ



寄りに向けた気持ちであらゆる人に接することができれば、きっとこれからの自分自身の豊かな人生につながることでしょ

SNS学習会

今週月曜日、山梨県警察本部生活安全部人身安全少年課より少年対策官を講師に迎えて、全校で『SNS学習会』を行いました。▼学習会の演題は『身近に潜むネット社会の危険性』。中学生のインターネット利用率 98.1 %、スマホ利用率 82.0 %とインターネットやスマホが当たり前の存在となった今、『被害者にならない』だけでなく『加害者にもならない』ためにどうSNSと向き合っていったらよいかを講師の先生が親身になってお話してくださりました。▼先生は、闇バイトやゲーム障害・ネット依存・ネットいじめ、喫煙や違法薬物の話など、たくさんの喫緊の課題について具体的なお話をしてくださりました。それらの話の中で私の印象に残ったのは、『(自分の話を)一生懸命聴いて自分のこれからに生かすのも、居眠りして聞こうとしないのも、すべて自分が決めること』という部分でした。果たしてどれくらいの方が今日の話をも自分事として聴き、自分の人生の中に生かそうとしていたのか……それは自分自身にしか分からないことです。ただ、はっきり言えることは人の話を『自分事』として聴かなければ、それがどんな尊い話であったとしても、まったく無意味なものになってしまうということです。▼この日の話に限らず、人の話を聴く姿勢にこそ、その人の人間性がよく表れると私は考えます。周りの人を大切にしている人は、どんな人の話もしっかりと受け止めようと努力します。それは話をする人の気持ちに立って、物事を考えることができているからです。伝えたいことがあって一生懸命に話をしているとき、はなから聞こうとしない態度を取る人のことをあなたはどのように感じるのでしょうか？自分が一方で、ろくに人の話を聞こうとしない人ほど、自分の話を聞いてないと腹を立てたりするものです。果たして自分は、人の話を聞くと、どちらの心構えでいるのか客観的に見つめてみてほしいと思います。



寄付された新品の校名旗

経年劣化により傷んでしまった校名旗を新調してくださった方がいます。「私たちの周りに三珠中学校のことを大切にしてくださる人がいる」ということを忘れることなく、この新しい旗に恥じることはない学校生活を過ごしていきましょう。

